令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　　【松江市立 第二中学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○言葉の特徴や使い方・情報の扱い方がわかっている。 ○話す・聞く・書く・読む、いずれの力も身に付いてきている。 ○記述式・短答式の問題についても無回答率が低くなっている。	・漢字の小テストを繰り返し実施する。 ・新出漢字を使って短作文を書く機会をもつ。 ・紙の辞書を積極的に使う。辞書を使って語句調べや短文づくりを行う。 ・自分の考えを話したり、書いたりする場面を増やす。
	課題	●漢字が不安要素である。文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がある。 ●語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈の意味を捉えることに課題がある。	
数学	成果	○知識・技能について、基礎・基本は身に付いてきている。 ○関数・データの活用など工夫して解くことができている。 ○小テストなどにより、分野のバランスよく解くことができている。	・小テストで分野ごとに出題する。 ・数学用語を用いて、説明する機会を増やす。 ・思考・判断・表現を用いる課題の設定を増やす。 ・他者の考えを理解する場面を増やす。
	課題	●問いに対する答え方や表し方が分からない。 ●数と式・図形など思考・判断に課題がある。 ●記述問題に課題がある。	
英語(成果または課題で話すことについて触れること)	成果	○3技能において、基本的な知識・技能は身に付いている。 ○必要な情報を正確に聞き取ったり読み取ったりすることができている。 ○日常的な話題や自分のことを簡単な語句や表現を使って伝えることができる。	・英作文等の書く活動を定期的に取り入れる。 ・語数指定をして、まとまった英文を書く活動を取り入れるようにする。 ・話すことも同様にまとまった内容を話す活動を取り入れる。
	課題	●語数不足の回答が多く、まとまった英文を書くことができていない。 ●聞いたことの情報を整理し、自分の考えや適切な理由を伝えることができていない。	

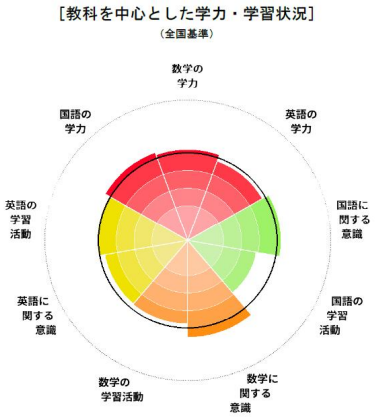
(2)質問紙調査から見られた傾向

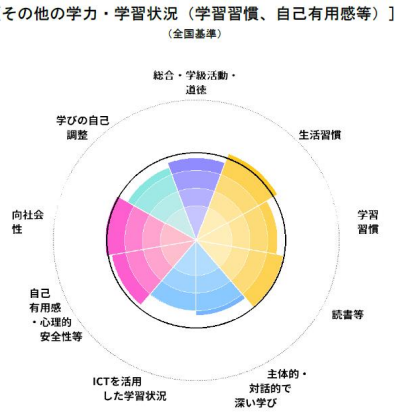
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○他者を思いやり、社会に貢献しようとする意識が高い。 ○将来の夢・目標ができた生徒が増えた。 ○学習が好き・得意、将来役に立つと思っている生徒が増えた。	・自分の意思を表現する場面を増やす。 ・夢や目標の実現に向けて、具体的な活動を進める。 ・ペア・グループ活動を通して、他者とのつながりの中で自己表現を高めていく。
	課題	●家庭学習時間が短い。 ●自分の考えを説明したり、気持ちを表現したりする力に課題がある。 ●ICTを授業や家庭学習で活用する機会が少ない。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・家庭学習の定着(自学ノート、eライブラリの活用)を徹底する。 ・個人→協働→個人のサイクルを大切にし、対話の中で考えを深め、表現活動や自分の学びにつなげる授業研究を行う。 ・教員のICT活用力を高め、授業でのICTの活用を進める。 ・全国学力・学習状況調査の問題を全教職員で解き、課題を踏まえて評価問題の作成や今後の授業計画を行う。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

238 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

